

令和5年度

事業報告書
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和 5 年度

事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

本年度の令和6年3月31日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

1. 会員

会員数 23 会員
 ・地区乗馬倶楽部振興会 20 会員
 ・目的賛同団体 3 団体

2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規定に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年比 1 乗馬施設の増加(5 乗馬施設増、4 乗馬施設減)、乗用馬登録は前年比 76 頭の増加、乗馬指導者は前年比 46 名の増加であった。

乗馬施設 290 施設 【別表1】
 乗用馬 5,354 頭 (令和5年4月末時点の登録数)
 乗馬指導者 1,939 名 (上級 B 141・W 14 名、中級 B 227・W 22 名、初級 B 1,451・W 84 名)

【別表1】 令和5年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和5年度				(参考) 令和 4年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1.	北海道	北海道 22	22				22
2.	東 北	青森 2 岩手 3 山形 2 宮城 5 秋田 1 福島 1	14	1			13
3.	北関東	栃木 9 茨城 17 群馬 5(1)	31			(1)	31
4.	埼 玉	埼玉 14	14	1			13
5.	千 葉	千葉 29	29				29
6.	東 京	東京 4	4				4
7.	神奈川	神奈川 21	21	1			20
8.	北 陸	新潟 2 富山 0 石川 2 福井 2	6				6
9.	長 野	長野 9	9				9
10.	山 梨	山梨 8	8		2		10
11.	静 岡	静岡 19	19	1			18
12.	東 海	愛知 8 岐阜 4	12		2		14
13.	東近畿	三重 8 奈良 6	14	1			13
14.	近 畿	滋賀 6 京都 5 大阪 9 和歌山 2	22				22
15.	兵 庫	兵庫 9	9				9
16.	中 国	岡山 5 広島 9 鳥取 1 島根 1 山口 4	20				20
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 1 徳島 1	6				6
18.	北部九州	福岡 12 佐賀 1	13				13
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 1	10				10
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 4 沖縄 2	7				7
	合 計		290	5	4	(1)	289

【新規登録乗馬クラブ】5件

グレイトフルホースファーム	(東北地区	: 岩手県)
彩ホースランチ	(埼玉地区	: 埼玉県)
O I S O乗馬クラブ	(神奈川地区	: 神奈川県)
特定非営利活動法人E P O	(静岡地区	: 静岡県)
月ヶ瀬乗馬クラブ	(東近畿地区	: 奈良県)

【退会乗馬クラブ】4件

コンチェルトクリニックセンター	(山梨地区	: 山梨県)
リファイン・エクイン・アカデミー	(山梨地区	: 山梨県)
尾張旭ライディングスクール	(東海地区	: 愛知県)
乗馬クラブジョイ	(東海地区	: 愛知県)

【休会乗馬クラブ】1件

社会福祉法人巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場 [2年目]	(北関東地区	: 群馬県)
----------------------------------	--------	--------

3. 諸会議等

令和5年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会	6月20日
議題	
	1. 令和4年度 事業報告
	2. 令和4年度 会計決算報告
	3. 理事辞任に伴う後任理事の選任について
	4. 定款の変更について
	5. 役員報酬等の支給に関する規程の改正について
	6. 役員改選の方法について

《理事会の開催》

第1回理事会	5月30日
議題	
	1. 令和5年度定時社員総会に付議する議案について
	2. 令和5年度定時社員総会の開催について
	3. 規程の改正について

第2回理事会

令和6年2月19日
1. 令和6年度事業計画・収支予算について
2. 公益目的事業の内容の変更について
3. 令和6年度 役員選考委員の選定について
4. 規程の改正について
5. 常勤役員報酬月額について
6. 賛助会員の入会について

《その他の会議等の開催》

常務理事会	5月30日・令和6年2月19日
地区会長会議	令和6年2月20日

4. 人事関係

令和5年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選任	理事	橋本 裕治	(6月20日)
退任	理事	江口 洋一郎	(6月20日)

5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

(1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会（以下「JRA」という。）からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、81件の事業を実施した。

・事業推進委員会の開催

第1回：12月21日、第2回（補助金交付のため）：令和6年2月28日

(2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらうため、また、引き続き馬への親しみや理解を深めてもらうための事業を実施した。実施件数は現地訪問型180件、乗馬施設招致型130件、都市部開催型1件であった。

・事業推進委員会の開催

（第1回：3月8日）、第2回（補助金交付のため）：12月21日、第1回：令和6年2月28日

(3) 乗馬技能認定事業

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は10,315名、合格者9,902名であり、審査回数は3,980回、技能認定審査実施乗馬施設数は166施設であった。

【別表2】

【別表2】令和5年度 乗馬技能認定結果

（単位：名）

級 / 年度		令和5年度	令和4年度	前年度比
審査回数		3,980	3,986	99.8%
乗馬クラブ数		166	154	107.8%
5級	申請者数	4,973	4,815	103.3%
	合格者数・率	4,965 99.8%	4,802 99.7%	103.4%
ウエスタン5級	申請者数	36	49	73.5%
	合格者数・率	36 100.0%	49 100.0%	73.5%
4級	申請者数	2,371	2,390	99.2%
	合格者数・率	2,350 99.1%	2,379 99.5%	98.8%
ウエスタン4級	申請者数	32	25	128.0%
	合格者数・率	32 100.0%	25 100.0%	128.0%
3級	申請者数	1,428	1,412	101.1%
	合格者数・率	1,277 89.4%	1,235 87.5%	103.4%
ウエスタン3級	申請者数	9	21	42.9%
	合格者数・率	9 100.0%	20 95.2%	45.0%
エンデュランス3級	申請者数	25	25	100.0%
	合格者数・率	25 100.0%	25 100.0%	100.0%
3級障害	申請者数	279	271	103.0%
	合格者数・率	264 94.6%	257 94.8%	102.7%
2級障害	申請者数	205	208	98.6%
	合格者数・率	188 91.7%	187 89.9%	100.5%

級 / 年度		令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
2 級馬場	申請者数	518	483	107.2%
	合格者数・率	377 72.8%	343 71.0%	109.9%
ウエスタン 2 級	申請者数	0	1	0.0%
	合格者数・率	0 —	1 100.0%	0.0%
エンデュランス 2 級	申請者数	10	12	83.3%
	合格者数・率	5 50.0%	11 91.7%	45.5%
1 級障害	申請者数	151	116	130.2%
	合格者数・率	135 89.4%	104 89.7%	129.8%
1 級馬場	申請者数	278	218	127.5%
	合格者数・率	239 86.0%	165 75.7%	144.8%
ウエスタン 1 級	申請者数	0	0	—
	合格者数・率	0 —	0 —	—
エンデュランス 1 級	申請者数	0	0	—
	合格者数・率	0 —	0 —	—
合計	申請者数	10,315	10,046	102.7%
	合格者数・率	9,902 96.0%	9,603 95.6%	103.1%

なお、技能認定 1 級・エンデュランス 2 級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格 B 級への移行措置者は 140 名であった。【別表 3】

【別表 3】 令和 5 年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B 級移行者数 (単位: 名)

技能認定	障害	馬場	エンデュランス		合計
	1 級	1 級	1 級	2 級	
人数	85	47	0	8	140
			8		
移行先	B 級	B 級馬場馬術限定	B 級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は 330 名であった。【別表 4】

【別表 4】 令和 5 年度 ポニーライダー登録者数 (単位: 名)

級 / 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
5 級	168	131	128.2%
4 級	65	52	125.0%
3 級	57	37	154.1%
2 級	22	17	129.4%
1 級	18	12	150.0%
合計	330	249	132.5%

- (4) 普及乗馬大会
- ① 全国普及乗馬大会
一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6月8日～11日の4日間、山梨県馬術競技場で開催した。
 - ② 地区普及乗馬大会
一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、19地区振興会、1団体会員で開催した。(中九州地区については、エントリー数が少なく今年度は中止とした。)
- (5) 乗用馬取扱講習会事業
- 9月7日～9月10日の4日間で、北海道根釧地区において乗馬愛好家や一般市民を対象に、馬の安全な取り扱いについての講習会を開催し、延べ32名が受講した。
- また、9月24日～25日の2日間で、広島県福山市において乗馬愛好家や一般市民を対象に、正しい引馬や調馬索運動についての講習会を開催し、延べ24名が受講した。
- (6) 乗馬普及広報事業
- 乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。
- また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティや小冊子の配布を行った。
- (7) 乗馬活動保険推進事業
- JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額(年間)に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じた補助金を交付した。
- (8) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業
- 1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業
JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、青少年・教育に関する講習会等を開催した。
 - ・講習会の開催
 - 地域振興：5会場 合計参加者数 176名(延べ人数)
 - 青少年：6会場 合計参加者数 307名(延べ人数)
 - 障がい者ホースセラピー：4会場 合計参加者数 181名(延べ人数)
 - ※15会場 合計参加者数 664名(延べ人数)
 - ・事業推進委員会の開催
第1回：4月11日、第2回：12月25日
 - 2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業
JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を開催する事業であるが、本年度は海外より講師を招いての講習会の開催を見送り、障がい者・ホースセラピーの国内における現状や資格制度に関する意見交換会を実施した。
 - ・障がい者乗馬・ホースセラピー制度に関する意見交換会の開催
第1回：12月22日
 - 3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業
JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外の講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催した。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国 29 大会で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

- ・(国内講師) 講習会の開催
「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」
5 会場 合計参加者数 341 名 (延べ人数)
- ・(外国講師) 講習会の開催
「引退競走馬でリオオリンピックに出場したボイド・マーティン氏の講習会」
1 会場 3 日間 208 名 (延べ人数) (受講者：108 名・見学者：100 名)
- ・引退競走馬所有者奨励競技会の開催
障害馬術：16 大会 合計申込頭数 436 頭
馬場馬術：8 大会 合計申込頭数 137 頭
総合馬術：5 大会 合計申込頭数 98 頭
※29 大会合計 671 頭
- ・事業推進委員会の開催
(第 1 回：2 月 7 日)、第 2 回：9 月 12 日、第 3 回：12 月 19 日
第 1 回：令和 6 年 2 月 13 日
- ・競技実行委員会の開催
第 1 回：11 月 21 日

4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業

JRA の助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取組みや馬産業の人材養成等に資するような取組みを支援する事業として行った。

本年度は支援対象事業検討委員会で対象となった 72 事業に対する支援を行った。

また、日本中央競馬会馬事公苑において、馬術普及・乗馬普及、ホースセラピー活動を行った。

- ・支援対象事業検討委員会
(第 1 回：1 月 24 日、第 2 回：3 月 29 日)、第 3 回：7 月 6 日、第 4 回：10 月 2 日
第 1 回：令和 6 年 2 月 7 日

6. 乗馬施設整備関係事業

(1) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和 6 年 3 月 28 日に、優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。

現在 159 乗馬施設が認定されている。

(2) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財) 畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

10 乗馬施設へ 15 件、取得価格総額 178,561,900 円の乗馬施設再貸付を実施した。 【別表 5】

【別表 5】 令和 5 年度 (公財) 畜産近代化リース協会関係 事業実施状況 (新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	貸付開始日
十和田乗馬倶楽部	自走式草刈機	1	4 月 1 日
(有)ティール・アール・シー 乗馬クラブ高崎	ホイルローダー	1	4 月 1 日
STABLE AMIEST	トレーニングマシン	1	7 月 1 日

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	貸付開始日
ハーモニーワールド	馬積載箱	1	7月1日
グレイトフルホースファーム	ウォーキングマシン	1	7月1日
蒜山ホースパーク	スキッドステアローダー	1	8月1日
北総乗馬クラブ	トラック・馬積載箱	2	10月1日
ルヴァードライディングクラブ	給水施設	1	10月1日
ニューオリピッククラブ 宝馬乗馬学校	簡易式倉庫	1	11月1日
蒜山ホースパーク	馬運車	1	11月1日
グレイトフルホースファーム	堆肥エアレーション装置・ 簡易式堆肥舎	2	令和6年2月1日
カナディアンキャンプ乗馬クラブ	ウォーキングマシン・ ホイールローダー	2	令和6年3月1日
合 計	10 施設	15 件	

(3) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けての事業を行った。

軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬4,889頭に対し、予防接種費の補助金を交付した。

なお、登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、8月2日に第1回、令和6年3月14日に第2回「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。

(2) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、公設動物園、在来馬保存会、在来馬飼養管理者を対象とした馴致・調教の講習会を行った。

・在来馬乗用化推進事業現地講習会

会 場：宮古馬保存会宮古馬飼養管理施設（沖縄県宮古島市長間）
荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・沖縄県宮古島市下地与那覇）等
日 程：6月27日～29日
宮古馬の現地飼養管理者を対象に馴致調教方法・飼養管理方法の指導
参 加 者：10人（延べ人数16名）

・在来馬飼養管理者集合講習会

会 場：宮古馬保存会宮古馬飼養管理施設（沖縄県宮古島市長間）
荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・沖縄県宮古島市下地与那覇）等
日 程：令和6年1月23日～26日
全国で在来馬を飼養管理している者ならびに現地で宮古馬を飼育管理している者を対象に初期馴致ならびに基礎調教を指導
参 加 者：14人（延べ人数44名）

(3) 馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 事業推進委員会開催事業

馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業推進委員会は、令和6年2月13日に最終年度のため自己評価の検証を行った。

② 若手後継者による上場馬調教事業

馬産地においてこれまで講習会を受講した者の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選ばれた若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者に対して若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、本協会有資格指導者を講師として現地へ派遣し、馴致調教の初期段階における選抜馬の乗用馬市場までの方向性を見極めと、馴致調教に関する指導を行った。

続いて、乗用馬市場前の調教仕上げ期に必要な、馴致調教の指導のために、本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。

現地確認事業

遠野地域：5月22日～24日	参加者：5名
十勝地域：6月23日～25日	参加者：4名
根釧地域：7月13日～16日	参加者：6名

現地指導事業

遠野地域：10月11日～17日	参加者：5名
十勝地域：9月22日～25日	参加者：4名
根釧地域：9月22日～26日	参加者：7名

8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会

① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門3会場で実技講習会を開催した。【別表6】

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級を東西の2会場、ウエスタン部門の中級講習は関東及び西日本会場で実施した。ウエスタン部門上級は申込みが無く中止とした。【別表6】

(2) 乗馬指導者資格認定

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を10月24日に全国8カ所で一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西2カ所に分け、東日本地域は11月14日山梨県馬術競技場、西日本地域は11月28日三木ホースランドパークで開催した。

ウエスタン部門の初級・中級は全国3カ所に分け10月26日に北海道地域は鹿追町ライディングパーク(初級のみ)、東日本地域はラングレーランチ、西日本地域は福岡県馬術競技場で開催した。

また、ウエスタン部門の上級は、申込が無く中止とした。【別表6】

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成は、10月3日～4日のブリティッシュ中級・上級西日本講習会時に試験内容を確認した。

③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、6月6日にJRA新橋分館において実務研修を開催した。

④ 合否判定会議

12月5日に乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

<ブリティッシュ> 94名合格（初級84名、中級4名、上級6名）

<ウエスタン> 12名合格（初級10名、中級2名）

【別表6】 令和5年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数・・・ 218名

受験者数・・・ 186名

合格者数・・・ 106名

（単位：名）

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	ブリティッシュ	北海道	北広島乗馬クラブ	6/27～6/29	6	6	4	4	2	2	50.0%
		東北	馬っこパーク・いわて	6/19～6/21	10	8	5	5	4	1	80.0%
		関東Ⅰ	中島トニアシュタール	9/4～9/6	105	103	55	52	26	26	50.0%
		関東Ⅱ	御殿場市馬術・スポーツセンター	——	——	——	43	43	23	20	53.5%
		北陸・中部	福井ホースパーク	6/21～6/23	5	5	5	5	3	2	60.0%
		関西	鶴見緑地乗馬苑	7/3～7/5	30	28	24	23	16	7	69.6%
		中国・四国	蒜山ホースパーク	9/4～9/6	17	16	14	13	6	7	46.2%
		九州	美原乗馬クラブ	6/27～6/29	8	8	6	6	4	2	66.7%
	小計				181	174	156	151	84	67	55.6%
	ウエスタン	東日本	鹿追町ライディングパーク	6/27～6/29	5	5	4	4	4	0	100.0%
		関東	ラングラールランチ	6/12～6/14	9	9	6	6	2	4	33.3%
		西日本	福岡県馬術競技場	6/13～6/15	7	7	6	4	4	2	66.7%
	小計				21	21	16	16	10	6	62.5%
	初級合計				202	195	172	167	94	73	56.3%
中級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8/29～8/30	4	4	4	4	2	2	50.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	10/3～10/4	9	8	7	5	2	3	40.0%
	小計				13	12	11	9	4	5	44.4%
	ウエスタン	東日本	鹿追町ライディングパーク	実施せず							
		関東	ラングラールランチ	6/12～6/14	2	2	2	2	1	1	50.0%
		西日本	福岡県馬術競技場	6/13～6/15	1	1	1	1	1	0	100.0%
小計				3	3	3	3	2	1	66.7%	
中級合計				16	15	14	12	6	6	50.0%	

区分	地域	会 場	養 成 講 習 会			資 格 認 定 試 験						
			期 間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率		
上級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8/29～8/30	2	2	2	1	1	0	100.0%	
		西日本	三木ホースランドパーク	10/3～10/4	6	6	6	6	5	1	83.3%	
	小 計				8	8	8	7	6	1	85.7%	
	ウエスタン	東日本	山梨県馬術競技場	実施せず								
		西日本	三木ホースランドパーク	実施せず								
	小 計											
	上 級 合 計				8	8	8	7	6	1	85.7%	
合 計					226	218	194	186	106	80	64.0%	

注)

- ウエスタン中級の東日本及びウエスタン上級東日本・西日本は申込者がいないため、開催せず。
- 初級乗馬指導者資格認定試験は、ブリティッシュ10月24日、ウエスタン（中級含む）10月26日に実施。
- ブリティッシュ中・上級の乗馬指導者資格認定試験は、学科10月24日、実技・面接については東日本が11月14日、西日本は11月28日に実施。

(3) 乗馬指導者巡回指導

会場等の都合により実施せず。

(4) 乗馬指導者競技会

① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため6月8日～11日の4日間、山梨県馬術競技場で、ブリティッシュ部門のみ開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会

ブリティッシュ部門を7地域において一般の競技会と併せて実施した。ウエスタン部門は山梨県馬術競技場と福岡県馬術競技場の2ヶ所で実施した。【別表7】

【別表7】 令和5年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	9月30日～10月1日	ノーザンホースパーク
東北	8月19日～20日	仙北市馬術競技場
関東	8月11日～12日	山梨県馬術競技場
北陸中部	10月28日～29日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11月2日、19日	水口乗馬クラブ
中国四国	11月5日	エヒメ乗馬クラブ
九州	令和6年1月20日～21日	上村乗馬苑
ウエスタン東	9月16日	山梨県馬術競技場
ウエスタン西	12月16日～17日	福岡県馬術競技場

(5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、3地域において救急救命や指導者としてのマナー等について講習会を開催した。

- ・東北地域（宮城県仙台市／PARM-CITY 131）
実施日：令和6年2月27日 参加者23名
- ・北陸中部地域（愛知県名古屋市／イールーム名古屋駅前A）
実施日：令和6年3月5日 参加者44名
- ・中国四国地域（岡山県岡山市／セミナールームTOGITOGI）
実施日：令和6年3月26日 参加者21名

令和 5 年度

会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	486,780,935	233,323,355	253,457,580	
現金	143,581	117,133	26,448	
普通預金	426,637,354	173,206,222	253,431,132	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	7,361,169	4,568,135	2,793,034	
仮払金	346,862,434	382,137,640	△ 35,275,206	
概算払金	29,880	0	29,880	
貯蔵品	7,351,747	6,416,559	935,188	
流動資産合計	848,386,165	626,445,689	221,940,476	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	30,566,736	25,906,962	4,659,774	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	45,449,619	43,485,439	1,964,180	
ソフトウェア	1,613,334	3,373,334	△ 1,760,000	
特定資産合計	93,629,689	88,765,735	4,863,954	
(2) その他固定資産				
備品	1,585,162	2,087,392	△ 502,230	
ソフトウェア	2,622,013	2,518,887	103,126	
電話加入権	372,008	372,008	0	
車両運搬具	457,917	1,249,750	△ 791,833	
その他固定資産合計	5,037,100	6,228,037	△ 1,190,937	
固定資産合計	98,666,789	94,993,772	3,673,017	
資産合計	947,052,954	721,439,461	225,613,493	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	10,059,766	6,974,368	3,085,398	
仮受金	609,218,496	414,506,720	194,711,776	
預り金	761,036	1,183,917	△ 422,881	
賞与引当金	5,270,001	4,807,742	462,259	
流動負債合計	625,309,299	427,472,747	197,836,552	
2. 固定負債				
退職給付引当金	30,566,736	25,906,962	4,659,774	
固定負債合計	30,566,736	25,906,962	4,659,774	
負債合計	655,876,035	453,379,709	202,496,326	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	1,613,334	3,373,334	△ 1,760,000	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(1,613,334)	(3,373,334)	(△ 1,760,000)	
2. 一般正味財産	289,563,585	264,686,418	24,877,167	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(61,449,619)	(59,485,439)	(1,964,180)	
正味財産合計	291,176,919	268,059,752	23,117,167	
負債及び正味財産合計	947,052,954	721,439,461	225,613,493	

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	249,718,283	207,257,936	29,804,716		486,780,935	
現金	0	0	143,581		143,581	
普通預金	249,718,283	147,257,936	29,661,135		426,637,354	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	7,310,373	0	50,796		7,361,169	
仮払金	346,223,964	0	638,470		346,862,434	
概算払金	0	29,880	0		29,880	
貯蔵品	7,351,747	0	0		7,351,747	
流動資産合計	610,604,367	207,287,816	30,493,982	0	848,386,165	
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
退職給付引当資産	25,064,724	2,445,339	3,056,673		30,566,736	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	45,449,619	0		45,449,619	
ソフトウェア	1,613,334	0	0		1,613,334	
特定資産合計	26,678,058	47,894,958	19,056,673	0	93,629,689	
(2) その他固定資産						
備品	1,380,664	90,888	113,610		1,585,162	
ソフトウェア	2,622,013	0	0		2,622,013	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
車両運搬具	457,917	0	0		457,917	
その他固定資産合計	4,732,160	131,809	173,131	0	5,037,100	
固定資産合計	31,410,218	48,026,767	19,229,804	0	98,666,789	
資産合計	642,014,585	255,314,583	49,723,786	0	947,052,954	
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	4,417,888	8,800	5,633,078		10,059,766	
仮受金	600,563,463	6,984,000	1,671,033		609,218,496	
預り金	0	84,093	676,943		761,036	
賞与引当金	4,321,401	421,600	527,000		5,270,001	
流動負債合計	609,302,752	7,498,493	8,508,054	0	625,309,299	
2. 固定負債						
退職給付引当金	25,064,724	2,445,339	3,056,673		30,566,736	
固定負債合計	25,064,724	2,445,339	3,056,673	0	30,566,736	
負債合計	634,367,476	9,943,832	11,564,727	0	655,876,035	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	1,613,334	0	0	0	1,613,334	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(1,613,334)	(0)	(0)		(1,613,334)	
2. 一般正味財産	6,033,775	245,370,751	38,159,059	0	289,563,585	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(45,449,619)	(16,000,000)		(61,449,619)	
正味財産合計	7,647,109	245,370,751	38,159,059	0	291,176,919	
負債及び正味財産合計	642,014,585	255,314,583	49,723,786	0	947,052,954	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が329,180,293円ある。

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,566	1,643	△ 77	
特定預金受取利息収益	1,566	1,643	△ 77	
受取入会金及び会費	3,300,000	3,250,000	50,000	
受取入会金及び会費	3,300,000	3,250,000	50,000	
事業収益	112,952,650	109,450,523	3,502,127	
登録料収益	46,835,400	45,540,200	1,295,200	
指導者資格認定試験料収益	2,907,300	3,689,000	△ 781,700	
乗馬技能認定料収益	44,027,500	42,898,900	1,128,600	
参加料収益	8,905,000	9,199,000	△ 294,000	
再貸付事務手数料収益	3,928,360	1,530,793	2,397,567	
資格認定テキスト収益	6,349,090	6,592,630	△ 243,540	
受取補助金等	1,023,920,464	853,238,739	170,681,725	
乗馬普及事業助成金	1,013,026,564	843,958,839	169,067,725	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	3,447,900	0	
スポーツ振興くじ助成金	5,686,000	4,072,000	1,614,000	
雑収益	3,330	1,547,946	△ 1,544,616	
受取利息収益	3,330	3,175	155	
雑収益	0	1,544,771	△ 1,544,771	
経常収益計	1,140,178,010	967,488,851	172,689,159	
(2) 経常費用				
事業費	1,104,555,191	948,352,859	156,202,332	
役員報酬	6,466,482	6,446,808	19,674	
給与手当	53,621,392	56,050,907	△ 2,429,515	
社会保険料	10,459,453	10,819,209	△ 359,756	
福利厚生費	546,712	991,536	△ 444,824	
馬とのふれあい補助費	50,187,541	50,228,385	△ 40,844	
乗用馬保健衛生補助費	36,089,928	34,099,813	1,990,115	
乗馬施設整備補助費	754,598,368	611,501,869	143,096,499	
競技会奨励費及び賞品費	42,689,700	34,635,000	8,054,700	
会議及び講習会費	36,814,698	28,763,834	8,050,864	
旅費交通費	52,443,021	47,810,037	4,632,984	
従事員賃金	7,521,081	8,149,193	△ 628,112	
広報費	15,291,632	14,321,793	969,839	
備品及び借料費	10,112,178	8,323,459	1,788,719	
減価償却費	3,744,314	3,641,759	102,555	
消耗品費	540,406	1,794,370	△ 1,253,964	
図書印刷製本費	5,334,185	10,277,217	△ 4,943,032	
通信費	2,751,442	2,736,174	15,268	
光熱及び水料	640,563	588,173	52,390	
役務費	3,566,312	5,152,234	△ 1,585,922	
租税公課	3,783,717	2,976,711	807,006	
雑費	2,742,235	4,800,512	△ 2,058,277	
退職給付費用	4,193,797	4,185,800	7,997	
賞与引当金繰入	416,034	58,066	357,968	
管理費	10,745,652	11,698,055	△ 952,403	
役員報酬	718,498	716,312	2,186	
給与手当	5,957,933	6,227,879	△ 269,946	
社会保険料	1,162,162	1,202,135	△ 39,973	
福利厚生費	60,746	110,171	△ 49,425	
会議及び講習会費	119,471	271,036	△ 151,565	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
旅費交通費	450,985	339,187	111,798	
従事員賃金	117,987	272,410	△ 154,423	
備品及び借料費	768,438	860,604	△ 92,166	
減価償却費	31,623	45,002	△ 13,379	
消耗品費	44,267	44,916	△ 649	
図書印刷製本費	69,149	54,211	14,938	
通信費	171,589	240,967	△ 69,378	
光熱及び水料	71,173	60,979	10,194	
役務費	361,301	400,388	△ 39,087	
租税公課	3,013	3,879	△ 866	
雑費	125,115	376,437	△ 251,322	
退職給付費用	465,977	465,089	888	
賞与引当金繰入	46,225	6,453	39,772	
経常費用計	1,115,300,843	960,050,914	155,249,929	
評価損益等調整前当期経常増減額	24,877,167	7,437,937	17,439,230	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	24,877,167	7,437,937	17,439,230	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受増益	0	2,000,000	△ 2,000,000	
経常外収益計	0	2,000,000	△ 2,000,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	2,000,000	△ 2,000,000	
当期一般正味財産増減額	24,877,167	9,437,937	15,439,230	
一般正味財産期首残高	264,686,418	255,248,481	9,437,937	
一般正味財産期末残高	289,563,585	264,686,418	24,877,167	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	
当期指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	
指定正味財産期首残高	3,373,334	5,133,334	△ 1,760,000	
指定正味財産期末残高	1,613,334	3,373,334	△ 1,760,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	291,176,919	268,059,752	23,117,167	

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	435	435	27	731	0	758	373	1,566	
特定預金受取利息収益	435	435	27	731	0	758	373	1,566	
受取入会金及び会費	1,650,000	1,650,000	0	0	0	0	1,650,000	3,300,000	
受取入会金及び会費	1,650,000	1,650,000	0	0	0	0	1,650,000	3,300,000	
事業収益	62,188,890	62,188,890	46,835,400	3,928,360	0	50,763,760	0	112,952,650	
登録料収益	0	0	46,835,400	0	0	46,835,400	0	46,835,400	
指導者資格認定試験料収益	2,907,300	2,907,300	0	0	0	0	0	2,907,300	
乗馬技能認定料収益	44,027,500	44,027,500	0	0	0	0	0	44,027,500	
参加料収益	8,905,000	8,905,000	0	0	0	0	0	8,905,000	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	3,928,360	0	3,928,360	0	3,928,360	
資格認定テキスト収益	6,349,090	6,349,090	0	0	0	0	0	6,349,090	
受取補助金等	1,011,017,386	1,011,017,386	3,584,188	2,150,513	0	5,734,701	7,168,377	1,023,920,464	
乗馬普及事業助成金	1,000,123,486	1,000,123,486	3,584,188	2,150,513	0	5,734,701	7,168,377	1,013,026,564	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	0	0	0	0	1,760,000	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	3,447,900	0	0	0	0	0	3,447,900	
スポーツ振興くじ助成金	5,686,000	5,686,000	0	0	0	0	0	5,686,000	
雑収益	2,585	2,585	157	273	0	430	315	3,330	
受取利息収益	2,585	2,585	157	273	0	430	315	3,330	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	1,074,859,296	1,074,859,296	50,419,772	6,079,877	0	56,499,649	8,819,065	1,140,178,010	
(2) 経常費用									
事業費	1,094,876,485	1,094,876,485	6,456,753	3,221,953	0	9,678,706	—	1,104,555,191	
役員報酬	5,891,684	5,891,684	359,249	215,549	0	574,798	—	6,466,482	
給与手当	48,855,046	48,855,046	2,978,966	1,787,380	0	4,766,346	—	53,621,392	
社会保険料	9,529,724	9,529,724	581,081	348,648	0	929,729	—	10,459,453	
福利厚生費	498,115	498,115	30,373	18,224	0	48,597	—	546,712	
馬とのふれあい補助費	50,187,541	50,187,541	0	0	0	0	—	50,187,541	
乗用馬保健衛生補助費	36,089,928	36,089,928	0	0	0	0	—	36,089,928	
乗馬施設整備補助費	754,598,368	754,598,368	0	0	0	0	—	754,598,368	
競技会奨励費及び賞品費	42,689,700	42,689,700	0	0	0	0	—	42,689,700	
会議及び講習会費	36,814,698	36,814,698	0	0	0	0	—	36,814,698	
旅費交通費	51,999,131	51,999,131	308,595	135,295	0	443,890	—	52,443,021	
従事員賃金	7,110,012	7,110,012	375,673	35,396	0	411,069	—	7,521,081	
広報費	15,291,632	15,291,632	0	0	0	0	—	15,291,632	
備品及び借料費	9,497,429	9,497,429	384,218	230,531	0	614,749	—	10,112,178	
減価償却費	3,719,016	3,719,016	15,811	9,487	0	25,298	—	3,744,314	
消耗品費	488,624	488,624	38,502	13,280	0	51,782	—	540,406	
図書印刷製本費	4,634,837	4,634,837	678,603	20,745	0	699,348	—	5,334,185	
通信費	2,531,569	2,531,569	168,397	51,476	0	219,873	—	2,751,442	
光熱及び水料	583,624	583,624	35,587	21,352	0	56,939	—	640,563	
役務費	3,277,271	3,277,271	180,651	108,390	0	289,041	—	3,566,312	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
租税公課	3,781,306	3,781,306	1,507	904	0	2,411	—	3,783,717	
雑費	2,607,162	2,607,162	63,438	71,635	0	135,073	—	2,742,235	
退職給付費用	3,821,015	3,821,015	232,989	139,793	0	372,782	—	4,193,797	
賞与引当金繰入	379,053	379,053	23,113	13,868	0	36,981	—	416,034	
管理費	—	—	—	—	—	—	10,745,652	10,745,652	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	718,498	718,498	
給与手当	—	—	—	—	—	—	5,957,933	5,957,933	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,162,162	1,162,162	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	60,746	60,746	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	119,471	119,471	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	450,985	450,985	
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	117,987	117,987	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	768,438	768,438	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	31,623	31,623	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	44,267	44,267	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	69,149	69,149	
通信費	—	—	—	—	—	—	171,589	171,589	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	71,173	71,173	
役務費	—	—	—	—	—	—	361,301	361,301	
租税公課	—	—	—	—	—	—	3,013	3,013	
雑費	—	—	—	—	—	—	125,115	125,115	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	465,977	465,977	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	46,225	46,225	
経常費用計	1,094,876,485	1,094,876,485	6,456,753	3,221,953	0	9,678,706	10,745,652	1,115,300,843	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,017,189	△ 20,017,189	43,963,019	2,857,924	0	46,820,943	△ 1,926,587	24,877,167	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 20,017,189	△ 20,017,189	43,963,019	2,857,924	0	46,820,943	△ 1,926,587	24,877,167	
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 20,017,189	△ 20,017,189	43,963,019	2,857,924	0	46,820,943	△ 1,926,587	24,877,167	
他会計振替額	23,363,392	23,363,392	△ 24,363,392	△ 964,180	0	△ 25,327,572	1,964,180	0	
当期一般正味財産増減額	3,346,203	3,346,203	19,599,627	1,893,744	0	21,493,371	37,593	24,877,167	
一般正味財産期首残高	2,687,572	2,687,572	177,807,549	46,069,831	0	223,877,380	38,121,466	264,686,418	
一般正味財産期末残高	6,033,775	6,033,775	197,407,176	47,963,575	0	245,370,751	38,159,059	289,563,585	
II 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
当期指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
指定正味財産期首残高	3,373,334	3,373,334	0	0	0	0	0	3,373,334	
指定正味財産期末残高	1,613,334	1,613,334	0	0	0	0	0	1,613,334	
III 正味財産期末残高	7,647,109	7,647,109	197,407,176	47,963,575	0	245,370,751	38,159,059	291,176,919	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

なし。

4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	25,906,962	4,659,774	0	30,566,736
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	43,485,439	1,964,180	0	45,449,619
ソフトウェア	3,373,334	0	1,760,000	1,613,334
合 計	88,765,735	6,623,954	1,760,000	93,629,689

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当預金	30,566,736	0	0	30,566,736
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	45,449,619	0	45,449,619	0
ソフトウェア	1,613,334	1,613,334	0	0
合 計	93,629,689	1,613,334	61,449,619	30,566,736

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	5,422,266	3,837,104	1,585,162
ソフトウェア (その他固定資産)	5,246,524	2,624,511	2,622,013

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（特定資産）	8,800,000	7,186,666	1,613,334
電話加入権	372,008	0	372,008
車両運搬具	2,000,000	1,542,083	457,917
合 計	21,840,798	15,190,364	6,650,434

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会 助成金	日本中央 競馬会	0	117,663,967	117,663,967	0	
競馬振興特別助成金 【3項①】 馬の多様な利活用を推進 する講習会開催等事業	日本中央 競馬会	0	17,214,934	17,214,934	0	
競馬振興特別助成金 【3項②】 障がい者乗馬・ホースセ ラピー活動等を支援する ための事業	日本中央 競馬会	0	819,831	819,831	0	
競馬振興特別助成金 【3項③】 民間における引退競走馬 の利活用促進等に関する 事業	日本中央 競馬会	0	61,211,702	61,211,702	0	
競馬振興特別助成金 【3項④】 被災地支援等のための馬 とのふれあい活動事業	日本中央 競馬会	0	39,950,621	39,950,621	0	
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の取 組みを支援し、発展させる ための事業	日本中央 競馬会	398,017,714	906,954,494	706,488,494	598,483,714	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の取 組みを支援し、発展させる ための事業	日本中央 競馬会	3,373,334	0	1,760,000	1,613,334	指定正味財産
競馬振興特別助成金 【3項⑥】 馬事公苑における馬介在 活動等を展開するための 事業	日本中央 競馬会	0	16,593,387	16,593,387	0	
畜産振興事業助成金 【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競 馬・畜産 振興会	0	36,083,628	36,083,628	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
畜産振興事業助成金 【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	3,447,900	3,447,900	0	
引退競走馬支援事業に関する活動奨励金	中央競馬馬主相互会	0	17,000,000	17,000,000	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	5,686,000	5,686,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	1,760,000
合 計	1,760,000

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	30,566,736
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	30,566,736

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,659,774
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,659,774

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

付 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,807,742	5,270,001	4,807,742	0	5,270,001
退職給付引当金	25,906,962	4,659,774		0	30,566,736

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管	運転資金として	143,581
	普通預金		426,637,354
	三菱UFJ銀行 本店 (4口座)	運転資金として	398,840,884
	三井住友銀行 経堂支店 (4口座)	"	25,902,740
	三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	"	1,893,730
	定期預金		60,000,000
	三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000
			7,361,169
	日本中央競馬会からの助成金	乗馬普及事業の補助金の未収分	7,310,373
	健康保険・厚生年金保険料の自己負担分	法人会計管理費の未収分	50,796
		346,862,434	
未収金	次年度執行分の補助金 29団体	乗馬普及事業の事業費	345,485,014
	次年度事業にかかる傷害保険料等	乗馬普及事業の事業費	738,950
	次年度にかかる傷害保険料等	法人会計管理費	638,470
仮払金	出張旅費 1件	乗馬普及事業の概算払分	29,880
			7,351,747
概算払金 貯蔵品	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト 類 14,147冊	乗馬普及事業のテキストの在庫	5,857,320
	ポニーライダー認定の認定バッジ 1,319個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	1,494,427
流動資産合計			848,386,165
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役職員に対する退職金の支払に備えた預金	30,566,736
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	5,566,736
			25,000,000
			16,000,000
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	16,000,000
			45,449,619
	普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借り入れ物件に対する保 障の積立預金	17,222,368
		"	28,227,251
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	公益目的保有財産として1,613,334円のソフトウ ェアを使用している。	1,613,334
	乗馬普及事業の総合業務システム		
ソフトウェア	事務所パソコン及び什器類 12件	公益目的保有財産の備品は1,380,664円であり、 乗馬普及事業に使用している。その他、収益 業等会計として90,888円、法人会計として 113,610円の備品を使用している。	1,585,162
	乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	公益目的保有財産として2,622,013円のソフト ウェアを使用している。	2,622,013
	5回線分	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であ り、乗馬普及事業に使用している。その他、収 益事業等会計として40,921円、法人会計として 59,521円の電話加入権を使用している。	372,008
	馬運車 (牽引車) 4台	公益目的保有財産の車両は457,917円であり、 乗馬普及事業に使用している。	457,917
固定資産合計			98,666,789
資産合計			947,052,954
(流動負債)			
未払金	通信費、保管料、旅費、地区への共催金等 18件	乗馬普及事業の事業経費	10,059,766
	委員への謝金、臨時従事員への3月分給与等 8件	"	1,456,116
	消費税	消費税納税分	677,972
	証明書発行等の銀行手数料	乗馬施設活性化事業の事業経費	2,283,800
	賃料、通信費、消耗品費等の事務管理費 22件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	8,800
	社会保険料	役員等に対する2、3月の社会保険料	3,206,074
	給与手当等	職員・臨時従事員に対する3月分給与等	2,292,060
			134,944
			609,218,496
	仮受金	賛助会員の次年度入会金及び会費	乗馬普及事業の次年度収益分
乗馬大会のエントリー料		"	291,000
誤入金の返金分		乗馬普及事業の返還分	24,000
指導者登録料 580人		"	6,960,000
日本中央競馬会からの助成金		助成金未使用分の返還分	1,471,033
"		乗馬普及事業の次年度分	598,483,714
預り金	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	助成金未使用分の返還分	1,788,749
	所得税	役員及び委員等に対する3月分所得税	761,036
	住民税	役員に対する3月分住民税	496,743
賞与引当金	乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の 現金預かり分	180,200
	職員に対する12～3月分の賞与分	職員に対する12～3月分の賞与分	84,093
流動負債合計			5,270,001
流動負債合計			625,309,299
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	役員に対する退職金の支払に備えたもの	30,566,736
固定負債合計			30,566,736
負債合計			655,876,035
正味財産			291,176,919

監 査 報 告

令和6年5月10日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 武 宮 忠 彦 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 野 中 亮 一

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。